

会 議 録

I. 附属機関等の会議の名称

平成30年度 第1回 松川町地域公共交通対策協議会

II. 開催日時

平成30年5月31日（木） 14時00分から16時00分まで

III. 開催場所

松川町役場 2階 協議会室

IV. 出席者氏名

《委員》

深津徹会長 水野一昭副会長 藤澤洋二委員（代理 堀内郁勇） 片桐実委員 伊藤正一委員
松尾貢委員 鈴木峰好委員 原節子委員 土屋智則委員（代理 長岡真実） 坂田浩一委員（代理
鈴木進） 黒河内淳史委員 鈴木明委員 高坂敏昭委員 伊藤武人委員
（欠席：宮本卓委員 小澤文人委員 小沢雅和委員）

《事務局》

吉澤澄久幹事長 下沢克裕事務局長 佐々木保事務局員 米山詩乃事務局委員
《平成29年度公共交通再編支援業務委託業者》
特定非営利活動法人 SCOP/鈴木研究員

V. 非公開の理由（会議を非公開とした場合）

—

VI. 傍聴人の数

—

VII. 協議事項（公開）

- (1) 協議会規約等の改正について
- (2) 平成29年度事業報告及び決算報告について
- (3) 平成30年度事業計画（案）及び予算（案）について
- (4) 生活交通確保維持改善計画（案）について
- (5) 監査委員の選出について
- (6) 通学定期券の対象路線変更について

VIII. 報告事項

- (1) 平成29年度公共交通再編支援業務の結果について（別紙）
- (2) 小中学生のコミュニティバス利用の無料化を求める要望書について

IX. 会議資料の名称

- (1) 平成 29 年度事業報告書及び決算書
- (2) 平成 30 年度事業計画書（案）及び予算書（案）
- (3) 生活交通確保維持改善計画書（案）
- (4) 通学定期券の対象路線変更
- (5) 小中学生のコミュニティバス利用の無料化を求める要望書

X. 審議の概要

1. 開 会（水野副会長）

2. 会長挨拶（松川町長）

3. 協議事項

(1) 協議会規約等の改正について

（事務局より説明）

会長：只今、協議会規約、事務局規定の改正について説明がありました。質疑等ございますか。

※質疑・意見なし このとおり改正して進めていく。

(2) 平成 29 年度事業報告及び決算報告について

（事務局より説明）（監査委員の伊藤武人氏より監査報告）

会長：利用状況、決算の報告がございましたが、質疑等ございますか。

※質疑・意見なし 平成 29 年度事業及び決算について承認

(3) 平成 30 年度事業計画（案）及び予算（案）について

（事務局より説明）

会長：30 年度の事業計画、予算（案）について説明がございましたが、質疑等ございますか。

委員：高齢化が進んでおり、免許の返納に対して心配されているお年寄りがいるため、全線を使いやすい公共交通にしてもらいたい。地域公共交通について住民との対話を深め、より良い運行、仕組みづくりに努めてほしい。

事務局：昨年度アンケート調査をし、現地の乗り降り状況等の調査を行った。後で調査業者からの提案もあるが、免許返納者への対応も含めて新しいシステムへの検討について話す予定。

そこでご意見をいただければと思う。

会長：その他の質疑、意見等ございますか。

※質疑・意見なし 平成 30 年度事業計画（案）及び予算（案）について承認

(4) 生活交通確保維持改善計画（案）について

（事務局より説明）

会長：質疑等ございますか。

※質疑・意見なし 生活交通確保維持改善計画について承認

(5) 監査委員の選出について

会長より、30 年度監査委員について小澤 文人委員（松川町商工会長）と、松尾 貢委員（上片桐地区代表 上片桐区長）が指名され、30 年度監査委員が決定。

(6) 通学定期券の対象路線変更について

(事務局より説明)

会長：質疑、意見等ございますか。

委員：通学定期券を持ったら、どのバスに乗っても良いということか。

事務局：いつでも全路線利用可能である。

委員：無料定期券については。

事務局：現在配っている無料定期券は、通学路線のみ対象。上片桐・大島循環線は、平成 24 年に小学生・中学生について乗りたいという話から、子どもに現金を持たせるのも危険なため定期券にした経緯がある。今回統一するために全線へ定期券の導入をしたい。定期券の意味合いは、通学の支援ということだが、通学のために無料乗車券を持っている子どもたちも、実際通学便以外に乗れている。

委員：通学便と循環線で、補助については。

事務局：スクールバスの路線については、普通交付税で対応している。

委員：高校生の扱いについては、上片桐・大島循環の便のみ定期券が発行されていたのか。

事務局：そうです。学校の許可をいただく中で、小学生・中学生も上片桐・大島循環線に乗れるようになった。生田線や部奈線の方は、もともと無料だったため、今まで安くすることや定期券を発行するという発想がなかった。

委員：定期券は一律路線 1,000 円か。

事務局：定期券は 1 か月単位で 1,000 円。始まったときは 2,400 円だったが、現在 1,000 円に下げている。

委員：バスで通う範囲以外の子どもたちが欲しいと言ったとき、定期券を購入できるのか。

事務局：学校へ届け出て、今の上片桐・大島循環と同じ許可が出れば。

委員：そもそもバスを利用しての通学というのは、教育委員会と学校の方針で上片桐の一部と生田地区の子どもたちと決められている。他の地区では認めていない。有害鳥獣の関係で上大島の一部の子どもたちについては認めるとなっているが、それを全町に広げるといふことになるとう問題が出る。

委員：名子や新井の子どもたちは、回数券を買ったとしても通学のためにバスは使えない。例えば小学生が、馬坂から乗りたいと言ったときに、定期券は発行できたとしても、学校側がだめだといえはその定期券は使えない。教育委員会の考え方と定期券を発行する範囲等、相対的に考える必要がある。

事務局：生田線等も定期券を発行すれば、生田まで帰りたい高校生にも支援ができる。

委員：高校生を対象にするなら良いと思う。乗っていなかった、また乗ってはいけなかった小学生・中学生は、学校の方針もあるので協議が必要。

会長：これについては、再度協議が必要のため事務局より再提案をお願いします。

4. 報告事項

- (1) 平成 29 年度公共交通再編支援業務の結果について（別紙）
（特定非営利活動法人 SCOP の鈴木研究員より説明）

《以下要点まとめ》

- ・現在の運行形態を維持していくが、一部の便については、利用者が少ないので予約便に変更したり、利用のないバス停は廃止していく等の整理が必要。
- ・ターゲットの見直しとして、高校生の利用がないため、高校生を取り込んでいきたい。
- ・時刻表の配布、住民説明会などを開催して、特に高校生、50 代、60 代の新しい利用者の確保をしていく。
- ・帰る時間帯の便について、鉄道から乗り継ぎしやすいバスの運行に取り組む。

- (2) 小中学生のコミュニティバス利用の無料化を求める要望書について
（事務局より説明）

委員：地元としては無料化をお願いしたいが、心身の「身」の方とのバランスがとれるか十分に検討されているかどうかの課題はある。しかし、現実にこのような声が上がっているので、皆様へお知恵をいただきたい。

会長：この件については、毎年上がってきている。学校、PTA、教育委員会等にも投げかけて、現状のやり方がベターとしている部分もある。

事務局：本日のところは、現状を継続していくということをご承知願いたい。

5. 今後のスケジュール

6. その他

- ・通学定期券の対象路線変更について、再度事務局より、提案内容を変更して説明

事務局：対象者を高校生のみに限って再度提案したい。

会長：高校生をターゲットにしたいという提案だが、如何か。

委員：高校生限定は良いと思うが、電車との接続については改善できるのか。

事務局：バスの時刻表については、毎年列車ダイヤの改正に合わせて 3 月に改正している。他の利用者への影響も考え、時刻表の改正は 3 月で調整していきたい。しかし、高校生への定期券発行については、利便性を考え早く実行していきたい。また、定期券の発行場所については、購入者の混乱を防ぐため、丸茂自動車さんの路線も合わせて伊那バス松川営業所のみとしたい。

会長：時刻表の課題等はあるが、高校生への定期券発行についてご了解いただきたいということだが、如何か。

委員：全員賛成

※質疑・意見なし 定期券が発行できる路線について、現在取り扱われている上片桐・大島通学便を除く他 6 路線を追加する。ただし、この 6 路線の対象者は高校生のみとする。以上を決定する。

7. 閉会（水野副会長）